



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>

日本共産党八千代市議団メール：kyousan@jcp-yachiyo.jp



第601号

2023年7月24日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

核兵器の廃絶をめざし八千代市からも

7月18日朝、八千代市役所から「原水爆禁止国民平和大行進」が出発しました。

出発式では、八千代市平和委員会の大崎氏とともに服部市長から、「立場を超えて平和への希求は同じ」との挨拶があり、猛暑の中での行進へ応援とともに体調管理を気遣う声が上がりました。

今回は、猛暑への対応で例年よりも短い距離での行進となりましたが、沿道を行き交う方々に平和の声を広げつつ、全国で反核平和の願いをつないだペナントを次の自治体へと引き継ぐことができました。



写真：出発式で挨拶する服部市長(左側)、と大崎氏(右側)

今年で66回目となる「原水爆禁止国民平和大行進」とは

1958年以来毎年実施されている原水爆禁止国民平和大行進は今年で66回目になります。全ての都道府県を歩き、被爆者や地域住民の平和にたいする思いを集め、8月の広島・長崎におかかって全国で行進しています。

原水爆禁止国民平和大行進には、原水爆禁止世界大会の成功に向けて自治体首長、議長をはじめ、多くの方の支持・賛同の記名・メッセージなど、平和の祈りを込めて寄贈されたペナントが託されています。

日本は核兵器禁止条約へ参加すべき

原水爆禁止にたいする国民の声があがる中、核兵器禁止条約は、国際社会における核兵器の非人道性に対する認識が広がっていることや、核軍縮への流れが停滞していることなどを背景に、2017年に国連加盟国の6割を超える122か国の賛成により採択され、2020年には批准した国が発効要件である50か国に達し2021年1月22日に発効されました。

しかしながら、唯一の戦争被爆国である日本は核兵器禁止条約に参加していません。

日本共産党市議団は議会等で、「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める」意見書の提出や、各方面からの請願・陳情に対しても積極的に賛成の声をあげています。

大軍拡や大增税よりも生活を!

日本政府は、核兵器禁止条約に参加しないどころか、軍事費を5年で43兆円という大增額に踏み切り、先制攻撃に使用する米国製ミサイルを2,000億円超で大量購入することになっています。一方で国の今年度予算では社会保障費が1,500億円も抑えられ、中小企業対策費も農業対策費もマイナス。大軍拡のしわ寄せは大增税というかたちで、私たちに押し付けられようとしているのです。

日本共産党は、核兵器の廃絶とともに対話優先の平和外交を求めています。そして命と暮らし最優先の社会にするために引き続き頑張ります。